



大淵地区敬老会
(九月二十日)



救急業務の大切さを実感 「1日救急隊員体験実習」

9月9日 救急の日に伴い、市立看護専門学校生らによる「1日救急隊員体験実習」が行われました。実習では、通信指令施設や高規格救急車など、救急に関する最前線の設備を見学。また、心肺蘇生法の体験では、真剣なまなざしで正しい救護方法を学び、救急医療業務の大切さを実感していました。



気軽に芸術に親しんで 「富士芸術村開村式」

9月12日 市内で活躍する芸術家により、大淵にある旧家を拠点とする「富士芸術村」の開村式が行われました。式典では、初代村長の漆畑勇司さんが、「芸術村を拠点に富士市が芸術・文化の栄えるまちになれば」と期待の言葉を述べました。また、オープン記念展では、旧家と現代アートの融合が、訪れた市民の目を楽しませていました。



明るくて温かみのある園舎が完成 「市立第一保育園新園舎落成式」

9月7日 旧園舎の老朽化に伴い建設工事が進められていた市立第一保育園の園舎が完成し、落成式が行われました。新園舎は、富士ヒノキを多く使い、明るく温かみのあるものになりました。式典では園児たちが「新しい保育園で、みんなで仲よく遊びます」とお礼の言葉を述べ、保育園の完成を祝いました。



教養を深め、豊かな心を 「富士市民大学後期講演会開校式」

9月8日 「自分発見・再発見」をテーマに、富士市民大学後期講演会の開校式がロゼシアターで行われました。さまざまな分野で活躍する人たちによる後期講演会は、全7回の講演を予定。初日は、漫才タレントの海原しおりさんによる講演が行われ、受講生の皆さんは、時折拍手を送りながら熱心に聞き入っていました。



月明かりの下、優雅に舞うかぐや姫 「姫名ひめなの里まつり」

9月24日 中秋の名月を前に、比奈の竹採公園で「姫名の里まつり」が行われました。太鼓や神楽などの伝統的な民俗芸能のほか、かぐや姫クイーンや地元の子もたちなどによる、創作舞踊「かぐや姫伝説」が上演されました。幻想的で優雅な舞いは、会場に訪れた大勢の観客を魅了しました。



バスに乗って出かけよう！ 「バスの日啓発イベント」

9月20日 公共交通機関であるバスに親んでもらおうと、「バスの日啓発イベント」が中央公園で行われました。行き先を乗客に告げずに市内観光地をめぐる「バスミステリーツアー」が行われたほか、会場では、12月から吉原地区で運行予定の新しいひまわりバスなどが展示され、多くの市民がバスとの触れ合いを楽しんでいました。

温室効果ガスの排出量

単位：トン（CO2に換算）

下水道処理に伴う排出量 4,555

	市役所独自で取り組める排出量	一般廃棄物焼却に伴う排出量	総量
H15年度実績値	22,985	39,433	66,972
	0.1%増	1.0%減	9.3%増
H12年度基準値	22,953	39,827	66,948
	4.0%減	5.0%減	38.0%増
H17年度目標値	22,035	37,836	65,623

富士市地球温暖化防止対策実行計画結果
平成十五年度の温室効果ガスの排出量は左図のとおりです。全体では、平成十二年度の基準値とほぼ同じになりました。一般廃棄物焼却に伴う排出量は減少しましたが、市民サービスの充実や、下水道の普及などに伴う増加要素もあります。今後も、排出量削減の目標達成に向けて、より一層、省エネ行動を推進していきます。

「富士市地球温暖化防止対策実行計画」と「富士市グリーン購入基本方針」の平成十五年度の取り組み結果を報告します

富士市グリーン購入基本方針
実施結果

平成十五年度は、グリーン購入（エコマークがついていたり、再生紙を使用したりしている商品の購入）の対象品目として、百二十七品目を定めました。グリーン購入率が高かったものは、コピー用紙、シャープペンシル、OA機器、公用車などです。一方、低かったものは、制服・作業服、作業用手袋などです。これは業務の特殊性のため、グリーン購入対象商品がなかったことによります。

市では、できることから「少しでも」という意識を持ち、目標達成に向け努力していきます。皆さんも、職場や家庭での生活を見直し、身近にできることから省エネルギーに取り組みましょう。

問い合わせ
環境政策課
☎55-2901
http://fujishi.jp/cityhall/kankyo-b/k_seisaku/